

第69回(2019年度)河北文化賞の贈呈式は、河北新報創刊記念日の17日、仙台市青葉区の仙台国際ホテルで行われる。受賞は3個人、2団体。

東北大名誉教授の早稻田嘉夫氏(74)は、東日本大震災からの復興推進に向けた次世代放射光施設誘致の実現と、物質・材料の新評価方法開発に貢献した。

東北医科薬科大医学部長の福田寛氏(71)は、陽電子放射断層撮影装置(PET)のがん診断法を開発。ヒトの脳加齢の画像研究など脳科学発展

第69回河北文化賞

きょう贈呈式

に寄与した。

国立天文台水沢VLIBI観測所(本間希樹所長)は、ブラックホールの輪郭撮影に成功した国際チームに参加し、宇宙の謎解明への重要な役割を担った。

彫刻家で画家の武藤順九氏(69)は、彫刻「風の環シリーズ」などにより彫刻芸術分野における世界的業績を挙げるとともに、宮城県への貢献を果たした。

会津大産学イノベーションセンター(岩瀬次郎センター長)は、長年にわたり産学連

携による共同研究や起業家育成に尽力し、多くの人材を地域に輩出した。

贈呈式には受賞者、推挙者が出席。公益財団法人河北文化事業団の二力雅彦理事長(河北新報社社長)が本賞の賞牌を贈る。山形大学大学院有機材料システム研究科教授の城戸淳二氏が「研究は人と人と人と」と題して記念講演をする。

河北文化賞は東北の学術、芸術、体育、産業、社会活動の各分野で顕著な功績を挙げた個人・団体に贈られる。